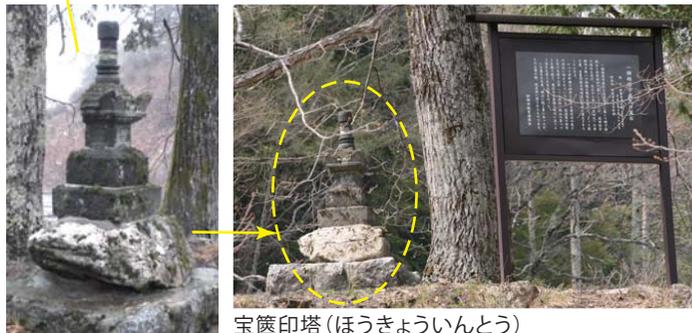


# 粟沢川掘り抜き

川筋を変える大工事

市野瀬集落の中を流れる粟沢川は、氾濫を繰り返し、集落はたびたび洪水に見舞われた。1843(天保14)年、名主馬場孫左衛門が藩の許可を得て、城山の南の尾根を掘り抜き、粟沢川の流路を三峰川へ繋げるように変更する大工事を実施した。



宝篋印塔(ほうきょういんとう)

現在の掘り抜きは、当時より大幅に開削されたが、掘り抜かれた様子がよくわかる。橋は「粟沢掘り抜き橋」という。

現在も残っている尾根

粟沢掘り抜き橋

粟沢川

## information

### □ アクセス

伊那ICから30km  
車→50分

### □ 所在地

伊那市長谷市野瀬



(国土地理院の数値地図25000(地図画像)を使用)

## 掘り抜き 工事

## 城主の墓

掘り抜き工事は1844(弘化元)年に完成をみたが、その後も川筋の整備は続けられ、新堤防の強化は続けられた。最終的に工事の完了届けがされたのは28年後の1871(明治4)年である。

1549(天文18)年に建立された、城主一瀬越前守直忠の墓(宝篋印塔)は、城山に続く尾根にあったが、粟沢川の掘り抜き工事の際、上流の道路脇に移転されており、案内看板もある。